



特集

フットケアチームの紹介

〈特集 フットケアチームの紹介〉
〈2017.5月～2017.7月の活動報告〉

〈地域連携だより〉
〈看護師レポート〉

「特集」

『フットケアチームの紹介』

糖尿病などの生活習慣病や高齢化を起因とする足病変が増加するなかで、最近注目されるようになったフットケア。当院でも平成28年度から本格的にチームを立ち上げて活動を行っています。

今回はそのフットケアチームの概要について、循環器内科部医師より話を聞きました。

閉塞性動脈硬化症とは

近年の高齢化、糖尿病の増加に伴い、その合併症の1つとして閉塞性動脈硬化症の増加が問題視されるようになってきました。動脈硬化症とは全身の動脈硬化によって血管が狭くなり、血液の流れが低下することで足先へ栄養や酸素を送り届けることができなくなる病気です。

症状としては、歩いていると足が疲れてきたり、筋肉痛のように痛くなったりします。また重症化すると何もしていないのに冷たく痛み（安静時疼痛）、最悪の場合には足の切断や死亡に至るケースもあります。

このように閉塞性動脈硬化症が重症化する前に、早期に治療をする必要があります。

フットケアチームの活動

当院では、平成25年度よりフットケアチームの立ち上げ準備をし、平成28年度より関連診療科（代謝内分泌内科・循環器内科・形成外科・整形外科・血管外科）医師およびフットケア指導士、皮膚・排泄ケア認定看護師を中心とした看護師等とともに活動を開始しました。

フットケアチームが中心となって閉塞性動脈硬化症の早期発見・早期治療が行えるよう頻繁に情報を共有し各関連診療科と連携をとっています。

具体的には、循環器内科ではカテーテル血管内治療を行います。この治療は狭くなった血管を拡張することで血流を改善させます。また、代謝内分泌内科では糖尿病の血糖管理や食事の見直しな

ど行い糖尿病の合併症の予防に努めています。形成外科では足の傷の治りがうまく進んでいるかを確認し、傷そのものの治りを促す処置を行い、少しでも早く治るようにします。

また、看護師によるフットケア外来も行っています。異常の早期発見・疾患予防も含めて足の観察、洗浄、爪切りを行います。そして患者さん自身も自宅でフットケアができるよう指導もしています。

このように複数の部門・専門科・多職種にわたる治療を行うために一丸となり最適な治療法を選択し足を守っていきたいと考えています。

カテーテルを使用した血管内治療

地域との連携フットケア

同時期より湖北地域の介護施設や老人保健施設などへの広報活動も開始しています。全国的に活躍されている講師をお招きし、最新の治療とフットケアに触れてもらうことや実際のフットケア技術を取り入れた講習会を開催しています。今後も疾患予防のための知識の広報にも活動範囲を拡大していく予定です。地域でご活躍の介護士さんや、ご家族さんもフットケアチームの一員として早期発見・早期治療に参加いただけるようにと考えています。

まずは「これくらいの傷で…。」「こんな症状で行くのは恥ずかしい」と思い込まずに気軽に相談、受診してみてください。



副院長兼糖尿病・
内分泌内科部長
江川 克哉



日本糖尿病学会指導医・専門医
日本内科学会認定内科医
日本医師会認定産業医
日本プライマリ・ケア連合学会認定医

循環器内科部長
上野 義記



日本循環器学会専門医
日本内科学会認定内科医
日本心血管インターベンション治療学会指導医・専門医
日本超音波医学会指導医・専門医

形成外科部長
河合 勝也



日本形成外科学会専門医
日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医
日本創傷外科学会専門医
日本褥瘡学会認定褥瘡医師

活動報告

5月 5月12日は看護の日

■～看護の心をみんなの心に～／5月11日(木)

当院では今年も1階エントランスホールで看護の日のPRイベントを行いました。血圧測定・健康相談、体脂肪測定、ハンドマッサージ、かかりつけ医相談、3つのいきいき相談の7つのブースを準備しました。

外来の診察待ちの方や面会のご家族などが立ち寄って下さり、多数の相談やお話を聞かせていただくことができました。かかりつけ医相談にも来てくださり、のべ280名の方に利用していただきました。



5月 長浜健康フェスティバルに参加しました

■健康フェスティバルにて救急法コーナーを設置／5月28日(日)

毎年長浜バイオ大学で開催される長浜健康フェスティバルに研修医6名、赤十字救急法指導員他11名の計17名が長浜健康フェスティバルに参加いたしました。

屋内ブースでは、胸骨圧迫のやり方とAEDの使い方を体験いただき、屋外ブースでは高規格救急車の展示を行いました。子どもからお年寄りまで様々な年代の方に救急法を体験して頂く中で説明することの難しさや市民のみなさまが身近に起こりうるという危機感をお持ちであると実感いたしました。



6月 赤十字第4ブロック救護訓練に参加しました

■本番さながらの訓練で他施設との連携を確認／6月17日(土)

京都府丹波自然公園で開催された赤十字第4ブロック救護訓練に参加しました。

訓練は4つのブースに分けられており、近畿の各赤十字病院救護3個班がひとつのチームを構成し順番に各ブースを回っていく方式で、当院は京都第一と柏原とでチーム編成されました。災害医療の現場では、平時は別々の医療機関で働いているもの同士が、一致団結し、医療を提供していかなければならないことから、指揮命令や情報伝達などの重要性和同時に難しさを実感しました。



7月 セタコンサートを開催しました

■ホールに響き渡る音色をお楽しみいただきました／7月1日(土)

今年もセタコンサートを開催しました。

今年は2部構成で、第1部は、当院の看護職員らによるオカリナグループ「花音」の演奏、後半はウクレレアンサンブル「KONANE」による演奏を披露していただきました。100名を超える患者さまや面会の方々にお越しいただき、歌詞カードを手に懐かしい歌を口ずさんだり、手拍子をしたり和やかなひとときを過ごしていただくことができました。



7月 湖北がんフォーラムに参加しました

■患者さんとともに歩む／7月23日(日)

今年度、当院は初めて「湖北がんフォーラム」に共催として参加しました。第1部のシンポジウムは「みんなで支える湖北の医療」をテーマに、患者家族、病院医師、開業医、訪問看護師、薬剤師と様々な立場からがん治療に関わる過程をお話しいただき、活発な意見交換が行われました。

第2部は「生活の中の死」と題した徳永進先生の講演で、今まで関わってこられた患者さんの事例についてお話しいただいたほか、ハーモニカの演奏も披露いただき、時に楽しく、時に切なく、でも、いつも患者さんのそばにやさしく寄り添っておられる先生の人柄を実感できるひとときとなりました。



7月 医師体験ワークショップが開催されました

■医師を目指す第一歩／7月30日(日)

湖北医師会主催の「医師体験ワークショップ」が開催され、当院も協力施設として参加しました。中学生高校生23人が4グループに分かれ、鶏肉を使つての皮膚の切開・縫合や心肺蘇生術、AEDの取扱いを学びました。

今回で5回目となる開催ですが、応募者多数のため抽選になるなど、医師への関心の高さがうかがえました。また、参加した生徒さんからは、「将来脳外科医になりたい」など具体的な夢も聞くことができ、この体験が医師を目指すきっかけになれば、と願うところです。



受診時にはお薬手帳を持ちましょう

当院を受診される方へ

当院を受診される時は、お薬手帳の持参をお願いします。

手術や検査の内容によっては、服薬を中止しなければならないお薬があります。

しかし、お薬手帳をお持ちでない場合は、他施設で処方されているものを含めて全てのお薬確認ができません。患者さんやご家族に伺っておりますが、正確にお薬の名前を説明していただくのはとても大変です。結果的に診察が長引き、待ち時間の増加、さらにはお薬の中止ができていなかったために、予定していただいた手術や検査が延期または中止となることがあります。

患者さんに安心・安全に手術や検査を受けていただけるように、お薬手帳を確認させていただきます。スムーズな診療のためにも、御協力をお願いします。



がん講演会のお知らせ

日 時	11月23日(木) 13:30~15:30
場 所	長浜赤十字病院 2号館5階 大会議室
テーマ	「乳がん、胃がん、肺がん...いろいろあるけれどみんな同じ?」
講 師	長浜赤十字病院 外科医師 中村 誠昌
対 象	がんで闘病中の患者様家族様
連絡先	長浜赤十字病院 がん診療支援室 (TEL: 0749-68-3389)

地域医療連携課だより

長浜赤十字病院・連携医療機関のご紹介

✓ 長浜赤十字病院の役割とかかりつけ医との地域連携

本院は、急性期医療を行うとともに地域医療支援病院として、地域全体で適切かつ高度な医療サービスを提供する機関と連携しています。地域住民のみなさまに一貫した切れ目のない医療を提供するために、病院－診療所、病院－病院内で診療情報の共有を行うび当院救命救急センターが対応します。

✓ 住民のみなさまへ

よりよい医療の提供をしていくため、かかりつけ医（開業医）からのご紹介状（診療情報提供書）を持参しての
ご来院をお願いします。また、病状が安定してきた患者さまには、ご紹介元診療所やご自宅近くの医院・クリニック（かかりつけ医）をご紹介させていただきます。

るために、かかりつけ医・近隣医療
－病院間で診療情報の共有を行うび
当院救命救急センターが対応します。

ご来院をお願いします。また、病状
が安定してきた患者さまには、ご紹介元診療所やご自宅近くの医院・クリニック（かかりつけ医）をご紹介させていただきます。



クリニック・ムライ

村居先生からのメッセージ

病気のこと、病気に関することでお悩みがありましたら、お気軽にご相談ください。

糖尿病や、高血圧症などでお困りの方、また消化器肝臓科を専門としておりますので、ウィルス性肝炎や脂肪肝の方もお気軽にご来院ください。



《医 師》 村居 晴洋（院長）
村居 中慈（副院長）
村居 外喜子
《診 療 科》 内科、小児科、消化器肝臓科
《住 所》 長浜市八幡中山町804-4
《電 話》 0749-65-2125
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:00	○	○	○	×	○	○
午後	15:00～18:00	○	○	○	×	○	×

※日曜日・祝日は休診です。
※小児科は火曜午前、金曜午後、土曜午前に診療を行っています。

あめのもり 雨森医院

雨森先生からのメッセージ

副院長は地域医療に50年以上従事し、院長が総合内科専門医としてup to dateな医療に対応し、基幹病院（長浜赤十字病院・市立長浜病院・湖北病院）とスムーズな連携を行っています。

当院の専門性・得意分野

肝臓専門医（肝臓学会）
総合内科専門医（内科学会）
消化器病専門医（消化器病学会）
消化器内視鏡専門医（消化器内視鏡学会）



《医 師》 雨森 正洋（院長）
雨森 正高（副院長）
《診 療 科》 内科、小児科
《住 所》 長浜市高月町雨森372番地
《電 話》 0749-85-3106
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:30～12:00	○	○	○	○	○	○
午後	16:00～18:00	○	○	○	×	○	×

※日曜日・祝日は休診です。
※1日、15日は当院の休診日です。

水野医院

水野先生からのメッセージ

平成元年に開業して以来、病院のない米原市及び山東地区における地域医療・介護の一端を担うべく内科全般はもちろん、外科的な処置まで幅広く診療しています。

少子高齢化が進む時代において、皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるように医療・介護のトータルなサポートをさせて頂くため、旧山東東小学校の跡地を利用し、高齢者向けの複合住宅も運営させて頂いております。また地域交流の拠点として活性化につながる取り組みもしております。



《医 師》 水野 敏彦
《診 療 科》 内科、外科
《住 所》 米原市長岡600番地
《電 話》 0749-55-2133
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:30～11:30	○	○	○	○	○	○
午後	15:30～18:00	○	○	×	○	○	×

※日曜日・祝日は休診です。

樋口歯科

樋口先生からのメッセージ

平成元年より地元七条町に開業して、まもなく30年を迎えようとしています。これもひとえに皆様のおかげと感謝しております。

これからも地域の方々のお口の健康向上の一助となるよう、病院との連携を図りつつ診療に努めてまいりたいと思います。



《医 師》 樋口 昌弘
《診 療 科》 歯科
《住 所》 長浜市七条町769
《電 話》 0749-65-3361
《往診診療》 無 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00～12:00	○	○	○	×	○	○
午後	14:00～18:00	○	○	○	×	○	○

※日曜日・祝日は休診です。

看護師レポート

～当院の一次救命処置（BLS）研修を紹介します～

看護部 救急看護認定看護師 野上幸代

一次救命処置とは？

一次救命処置とは、BLS: Basic Life Support のことで、急に倒れたり、窒息を起こした人に対して、その場に居合わせた人が、救急隊や医師に引き継ぐまでの間に行う処置のことです。

専門的な器具や、薬剤などを使う必要がないので、正しい知識と適切な処置の仕方を理解していれば、誰でも行なうことができます。



どんな研修内容ですか？

各部署・病棟ごとに毎月2回、BLS研修をしています。1グループ3～4名で救急法指導員、認定看護師、救命コース指導員を配置してBLSの基本的な手技と一連の流れを学びます。その後、模擬患者を想定したシナリオをチームで対応し、医師に引き継ぐまでのシミュレーション研修も行なっています。



研修での効果は？

先日院内で急変した患者様を発見し素早い院内緊急コールにて、たくさんのスタッフの応援にて、患者様は回復することが出来ました。

研修を受けたことで、以前よりさらに、急変を発見・覚知し、素早く応援要請・物品要請をすることができ、患者様の観察、処置を実施することができるようになりました。

この後も、私たち赤十字病院の職員として、人間の命と健康、尊厳を守る行動として、全職員対象にBLS研修を行なっていきます。



今回の表紙

赤十字第4ブロック救護訓練

今回の表紙は当院救護班が参加した救護訓練の様子です。今年は九州北部豪雨災害や秋田県での河川氾濫による浸水被害などが相次いで発生しています。近年多発するようになった局地的豪雨や近い将来起きるとされる地震災害に対して、十分な救護活動ができるよう日頃の備えが大切であると改めて感じました。



理念

「人道・博愛」の赤十字精神にのっとり、やさしさのある全人的医療を提供します

基本方針

1. 患者さまの人権を尊重し、安全で高度な医療を提供します
2. 地域の保健・医療機関との連携を強化します
3. 救急医療を充実します
4. 災害救護、国際救援に積極的に参加します
5. 最善の医療を提供するため常に研修・研鑽に努めます

患者さまの権利宣言

1. 人権が尊重され、良質で適切な医療を受ける権利
2. 医療上の情報・説明を受け、同意したのち医療を受ける権利
3. 治療方法などを自らの意志で選択する権利
4. プライバシーが保護される権利
5. 他の医師等の意見（セカンドオピニオン）を求める権利



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

長浜赤十字病院